

平成26年8月31日  
今週のベストショット



雁レク軟式3 塩浜ジャガーズ 対 三苦三球会戦

ピンチに見事な火消し役で今季初勝利に貢献したジャガーズ道喜裕之投手。

写真：新町ウインズ 城戸和裕

### 青松園B フレンズ善戦もライナーズ強打に屈す

雁ノ巣ライナーズ（9勝2敗）02301 6 有馬○ー吉田

三苦フレンズ（0勝8敗）22000 4 山口●ー佐藤

3BH：場崎（三苦フ）吉田、久保田2（雁ノ巣） 2BH：吉田（雁ノ巣）

盗塁：生野（拓）（三苦フ）明瀬（旭）（雁ノ巣）

8ノ24現在、勝ち点トップの雁ノ巣ライナーズ対今シーズン勝ち星がない三苦フレンズ。先制はフレンズ。一回裏、生野（拓）選手が四球で出塁すると二番場崎選手の三塁打で1点。さらに三番佐藤選手がセンター前に適時打を放ち2点を先制する。ライナーズもすかさず反撃、二回表一死から四番吉田選手がセンターオーバーの三塁打で出塁、続く鳥越選手のセンター前ヒットで1点を返し、岡崎選手も内野安打で続くと、有馬選手の内野ゴロの間に鳥越選手が生還し同点とする。しかし、フレンズは二回裏、下位打線からの攻撃にライナーズ内野陣、まさかの3連続エラーで無死満塁のチャンス。一番生野（拓）選手は四球で押し出し1点、続く場崎選手はレフト前へ2打席連続タイムリーヒットでさらに1点追加する。このまま終われないライナーズは三回表、明瀬（航）選手の内野安打をきっかけに、久保田選手のライト越え三塁打、吉田選手の痛烈な二塁打などで3点を取りついに逆転。五回表にも久保田選手のこの日2本目の三塁打からダメ押し1点を追加。フレンズはライナーズ有馬投手に三回以降はノーヒットに抑えられゲームセット。さすがの強打、ライナーズの勝利となった。フレンズは今年度勝利がないチームと思えない好ゲーム。勝利の日も近いと感じる試合でした。

（記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）





試合前の監督握手。



好投したフレンズ山口投手だが・・・



初回、フライを処理するフレンズ御手洗左翼手。



初回、素早くバンド処理するフレンズ山口投手。



一回裏、先頭で出塁しすかさず盗塁を決める  
フレンズ生野(拓)選手。



一回裏、レフトへ先制の三塁打を放つ  
フレンズ二番場崎選手。



三塁打を放ったフレンズ場崎選手。



一回裏、追加点の適時打を放つフレンズ三番佐藤選手。





一回裏追加点の適時打を放ち笑顔の佐藤選手。



二回表、反撃の口火となる三塁打ライナーズ吉田選手。



二回表、適時打を放つライナーズ六番鳥越選手。



二回表、小技でたたみかけるライナーズ岡崎選手。



二回裏、取られたら取り返すフレンズ場崎選手。



二回裏、無死満塁のピンチに内野ゴロで  
本塁アウトを取るライナーズ吉田捕手。



二回裏、一死満塁からゲッツーでピンチをしのぐ  
ライナーズ内野陣。



三回表、ライナーズ先頭の明瀬（航）選手が  
俊足を活かし内野安打。





豪快な右越え適時三塁打を放つライナーズ久保田選手。



低めの難しい球を適時二塁打の吉田選手。



逆転の犠牲フライを打った鳥越選手と生還した吉田選手を迎えるライナーズベンチ。



三回裏、ピッチャーフライを処理するライナーズ有馬投手。



三遊間の難しい当りを処理、強肩でアウトにするライナーズ明瀬（旭）遊撃手。



四回表、無死から果敢に盗塁で攻めるライナーズ一番明瀬（旭）選手。



五回表、吉田選手の犠牲フライでダメ押しのホームを踏むライナーズ久保田選手。



完投勝利のライナーズ有馬投手。



### 雁レク軟式3 両チーム合計17四死球の大味な試合をジャガーズが打ち勝つ！

塩浜ジャガーズ（1勝6敗）4516 16 荒木○、道喜－橋村、堀内

三苦三球会 （5勝3敗）1530 9 原口●－藤澤

HR：内田（塩浜ジ）3BH：田中、佐藤（塩浜ジ）2BH：橋村、稲富（塩浜ジ）盗塁：大津×2、渡辺（三球会）

一回表先攻の塩浜ジャガーズは先頭打者から三者連続出塁などで先制すると、さらにチャンスを広げ七番田中選手のレフトオーバーの三塁打で幸先良く4点を奪う。その裏三球会は1点を返すが、二回表にはジャガーズ三番内田選手の2ランなどでさらに5点を追加。二回裏三球会は、3四球を選び一番大津選手のチーム初ヒットのタイムリーと相手のミスに乗じて5点を奪い返す。三回表ジャガーズは、荒木選手のタイムリーで1点追加。三回裏三球会は、浜口選手の安打と5四球で3点を返したが、ここでジャガーズがピッチャーを道喜選手にスイッチすると後続が打ち取られチャンスを潰してしまう。四回表ジャガーズは、橋村選手の二塁打などでチャンスを作り六番佐藤選手の三塁打でダメ押しの6点を追加。四回裏三球会は塚（達）選手の安打などでチャンスを作り意地を見せるが結局得点出来ず試合終了。ジャガーズは作ったチャンスを効率的な長打などで確実に得点する攻撃は見事だった。対する三球会は10個の四球でチャンスはたくさんあったが結局3安打しか打てず、大事な所で得点出来なかった事がこの結果につながった。（記事：新町ウインズ 野中一史、写真：城戸和裕）



心地よい気候の中試合開始！



三球会先発の原口投手。



先制タイムリー！本日3打数3安打1HRのジャガーズ内田選手。



アウトにはできなかったものの三遊間の当たりをダイビングキャッチ！三球会の塚（達）選手。





ジャガーズ先発の荒木投手。



ワイルドピッチで三塁を狙う三球会の大津選手。



難しいフライを好捕！三球会の渡辺選手。



レフト前に2点タイムリー！三球会の大津選手。



大型扇風機！？豪快なスイング！三球会の右山選手。



ピンチの連続にマウンドに集まる水流監督とジャガーズ内野陣。



ジャガーズ二番手で登板の道喜投手。



左越え三塁打を放つジャガーズの佐藤選手。





試合終了！点の取り合いはジャガーズに軍配。



ジャガーズの選手一同の推薦！本日のヒーロー？2年越し25打席ぶりのヒットを放ったジャガーズ橋村選手。

### 雁レク軟式4 ホーネッツ、HR攻勢にて圧勝！！

三苦ホーネッツ（6勝1敗1分）3 3 4 4 0 1 4 矢野○ー広木

三友クラブ （3勝5敗1分）0 0 0 2 0 2 福山、足達●ー広瀬

HR：稲葉、矢野、塚（ホーネッツ）盗塁：洲上、松尾、三浦、稲葉（ホーネッツ）

ここまでチーム打率トップのホーネッツ。対するはホーネッツにめっぽう相性の良い三友クラブ！の注目対決で試合開始。ホーネッツは防御率0.66の矢野投手、一方の三友クラブはベテラン福山投手が先発。一回表、二番洲上選手のセーフティバントにて出塁すかさず盗塁後、三番矢野選手のきれいな三遊間ヒットにてまずは先取点。するとここで三友クラブはエース足達投手に交代。代わった足達投手から今田選手が三遊間ヒットにて初回到りに3点先取。二回表、HR攻勢の一発目は一番稲葉選手の2ランHR。更に松尾選手のセンター前ヒットなどでこの回も3得点で主導権を握る。この回洲上選手の放ったレフト前におちそうなヒット性のあたりを三友クラブレフトの駄原選手の超ファインプレイにてチャンスをとめた！（駄原選手、絶好のシャッターチャンス逃してしまいすみません！！）一方の三友クラブは矢野投手の前に打ちあぐむ。三回表、ホーネッツ七番三浦選手がセカンド内野安打にて出塁後、今期打撃不振の塚徹生選手がレフトオーバーの2ランにて追加点、この回4点をもぎとる。三回を終えて10-0。四回表、代打中角選手の三遊間ヒット、塚選手がエラーにて出塁後本日遅刻にてスターティングメンバーをはずれた山崎選手が意地のライト前ヒット。そして投打に活躍の矢野選手の本日チーム3本目の2ランにてこの回4点、試合を決定付ける一打を放った！！何とか一矢報いたい三友クラブは四回裏、福井選手のサード内野安打、駄原選手デットボール、広瀬選手のライト前ヒットにて満塁のチャンスに坂本選手がPゴロ、ダブルプレイかと思われたが広木捕手の迷いからアウトは1つのみ、しかし続く山本選手がセンター前ヒットを放ち2点が入った！しかし時すでに遅く、五回コールドにてホーネッツが圧勝した！！結果14安打を放ったホーネッツが圧勝だったが、ホーネッツの強さは試合開始1時間半前からの練習！そして一番～九番、代打陣までもが、いつ誰がどこで出場しても自分がまず塁に出るという攻めの気持ちが強く感じられた試合でした！（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：井手翔一郎）



試合開始挨拶。



三友クラブ先発、福山投手。





一回表、ホーネッツ二番洲上選手の盗塁。



一回表、自らのバットにて先取点を挙げた矢野投手。



二回表、まずは稲葉選手のHR（アウトかセーフか??）



三回表、堺選手のHR（ホーム前疲れ果てたか??）



四回表、矢野選手のHR（余裕のホームイン!!）



二回裏、駄原選手のショートエラーを誘う強打球。



三回表、前園選手のナイスバンド!と思いきや、ボールデットにてアウト!



二回裏、三友クラブ山本選手が喰らいつく!





四回裏、三友クラブ八尋選手が喰らいつく！



五回裏、竹岡選手惜しくもレフトライナー。



本日のヒーロー：2ランHRトリオ！稲葉選手、矢野投手、堺選手！

### 青松園A 好ゲームの末ドロー。

新町パイレーツ (3勝4敗2分) 202000 4 吉田△-小黑

奈多フェニックス (5勝2敗1分) 000310 4 今林(勇)△-実延(新)

HR：実延(新)(奈多フ) 2BH：小黑(新町パ)、実延(彰)(奈多フ) 盗塁：西藤(奈多フ)

もう負けられない両チーム。投手戦と思われたが、初回奈多フェニックス先発・今林勇太投手がいきなりの連続四球で無死一二塁。つづく三番白岩将選手の強めの送りバントがピッチャー横を抜け内野安打に。二塁ランナーがホームを尽き1点先制。更に五番山本選手の犠牲フライで1点追加。新町パイレーツが相手投手の不安な立上がりを読み幸先よく2点をリードした。三回には二番小黑選手の二塁打と五番山本、七番山野井選手の右前ヒットで2点追加。一方フェニックスはパイレーツ先発・吉田投手に完全に抑えられ、三回までわずか1安打。何とか反撃に移りたい四回、死球と二塁打で一死二三塁。つづく五番今林英二選手の三振で、やはり流れはパイレーツかと思ったその時、六番実延新伍選手が豪快な3ランを放ち点差はわずか1点に。流れを完全に引き寄せたフェニックスは続く五回にも一番西藤選手の好走塁と三番今林勇太選手の内野安打でようやく同点に追いついた。勝敗の行方は、六回両チームの投手が安定したピッチングで切り抜けたところで時間切れのドロー。両チームとも固い守備の中、少ないチャンスを実に確実に得点につなげた緊張感あるゲームだった。

(記事、写真：奈多サンデーズ 田中孝幹)





パイレーツ先発の吉田投手。



足が出ているけど・・・



フェニックス先発の今林勇太投手。



打っては同点打を放った今林勇太投手。



4点目のホームイン、パイレーツ八坂選手。



盛り上がるパイレーツベンチ。



特大ホームランのフェニックス実延新伍選手。



ホームラン後の実延新伍選手をパチリ。



## 第17週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第17週、8月31日は4試合が行われました。

青松園Bの雁ノ巣ライナース対三苦フレンズ戦は、先制したフレンズにすぐ追いつくライナース、つけ放しても遂には逆転してしまう強さを今のライナースは身に着けているように思える。点を取られてもそれ以上に点取る打線は、投手にとってこれほど有難いことは無いだろう。四番の久保田選手が三塁打2本、五番の吉田選手が三塁打と二塁打と中軸に長打が出て、それがしっかり点になっている。フレンズは中軸にヒットが1本だった差が6-4というスコアに出たか？

雁レク軟式3の塩浜ジャガーズ対三苦三球会戦は、共に先発投手が制球力を欠き、大味な試合展開。しかし、14安打を放ったジャガーズが16-9で今季1勝目。3安打ながら9点を取った三球会に対し、ピンチで登板し見事な火消し役を演じたジャガーズ道喜投手の活躍が光った。また2年越し25打席ぶりの安打を放った橋村選手おめでとうございます。今シーズン中にもう一本期待します。

雁レク軟式4の三苦ホーネッツ対三友クラブ戦は、完投勝利に3安打1HRと投打に活躍した矢野選手をはじめ、15人出場で14安打を放ったホーネッツが14-2で圧勝。終盤にやっと打線のエンジンがかかった三友クラブだったが、試合前の準備力の差が出た試合になった。

青松園Aの新町パイレーツ対奈多フェニックス戦は、4点をリードしたパイレーツに四回裏実延新伍選手の3ランを切っ掛けに追いついたフェニックス。共に5安打同士の試合は4-4の引き分けに終わった。この試合勝って五分の星に戻したかったパイレーツは勿体無い試合だった。逆に言えば、フェニックスの地力の強さが簡単には勝ちを譲らなかったと言えよう。

8月25日（月）に夏の甲子園決勝戦、大阪桐蔭対三重が行われ、接戦の末4-3で大阪桐蔭が2年ぶりに優勝しました。

ツイッターやfacebookなどで見た方もいるかもしれませんが、大阪桐蔭の主将「中村 誠」さんが、中学3年生の時に書いた作文が感動的だと話題になっています。

友から学んだこと（最優秀賞）

僕には、絶対叶えなければならない夢があります。

僕には体に障害を持った友達があります。体の右半分はマヒしていて、右手はブラブラしていますが、右足は少し動くので介助すると歩くことができます。えん下障害もあるので食べ物は細かくきざんだ物にとろみをつけて介助でゆっくり食べれます。水分は多く飲めないでお腹に開けた胃ろうからチューブを通して注入します。それから失語症もあり全く声が出ません。文字盤も使えないので自分の意志を伝えることはできないのです。とても不便な生活を送っています。

その友達と知り合ったのは僕が小学五年生の頃、四年前です。僕が野球の試合に出るようになり、対戦相手だった子と友達になった。その子は同級生と思えないくらいに野球が上手だった。ポジションも一緒だった。試合に



も負けた。僕はとても悔しかった。「絶対に負けたくない」この気持ちを胸に僕は一生懸命練習した。小学生の最後の大会の決勝戦でそのライバルのいるチームと戦った。延長戦で僕のチームが優勝することが出来た。でも僕は勝ったとは思えなかった。だから中学生になっても別のチームで戦っていくことを約束した。しかしその友達というチームとの試合があっても友達はいなかった。

友達は障害者になっていました。障害者になって三年になります。三年前のある日を境に突然障害者になってしまったのです。原因は病気です。本当に急な出来事でした。当時僕は大きなショックで友達を受け入れることができませんでした。

そんな友達を見て、初め「かわいそう」だと思っていました。でも一生懸命にリハビリに取り組んでいる友達の姿を見ていると、僕は「かわいそう」と思うのは良くない事だと思うようになりました。なぜかというと、人に対して「かわいそう」と思うことは、その人を見下しているように思ったからです。友達は障害を持ちながら一生懸命に生きているのに、上からの目線はごうまんで大変失礼なことだと思いました。このことは友達に対することだけではなく、全ての障害者に対して共通する気持ちです。障害者になりたくてなった人は誰もいません。そして誰もが障害者にならないという確率はゼロではないのです。

友達のように突然、病気になるかもしれないし、事故にあってけがをしたり、またどんな災害に出くわしてしまうかもしれません。もし僕がそうなったとしたら、想像するだけでもつらいことですが、そんなとき僕は人から同情されたくないと思います。「かわいそう」と思われたくないのです。人間はどのような障害を背負っていても、命ある限りは生きていかなければならないことはみんなに平等に与えられていることです。ただ生きていくための条件が良いか、少し悪いかという差だけのことだと思います。だから僕は障害者を見て「かわいそう」と思うことが許せなくなりました。

僕はお見舞いに行くと友達の車いすを押して出かけることがあります。よく他人の視線を感じるがあります。自分と違う人を見ると違和感を持つ人が多いのだと思います。でも自分と人は違って当たり前だし、その他人を認めることは最も大切なことだと思います。世の中のすべての人が自分と違う他人を受け入れることこそ、差別のない社会の実現につながっていくように思います。

友達のためにも、僕は野球を一生懸命頑張りプロ野球選手になり活躍します。

中村 誠（糸島市立志摩中学校3年）

平成23年度入賞作品 中学生部門最優秀賞「友から学んだこと」 内閣府

この作文は、内閣府の「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。本当に素晴らしい文章で心に響きました。

試合結果は、大阪桐蔭が4-3で勝ち2年ぶり4度目の優勝を果たしました。本当におめでとうございます。



いかがだったでしょうか？

人間大小の差はあれ、何らかのハンデを背負い暮らしているものです。

その差を決めるのは自分。

差別をするのではなく、他人と違う個を、または個と違う他人を受け入れることが大事だと思いました。

ソフトボールも上手い下手の差はあれ、皆が楽しくその時間、場所、感動を分かち合えるWSLであって欲しいと思います。

桐蔭学園の中村誠主将は福岡県糸島市立志摩中学校出身なんですね。

彼の凄さを実感してください。

<http://matome.naver.jp/odai/2140895305901629901>